



研究会風景

平成23年10月7日(金)

愛知県産業技術研究所 工業技術部 自動車・機械技術室
担当 鈴木、村上、梅田

電話 0566-24-1841

愛知県産業労働部 地域産業課 技術振興・調整グループ
担当 津本、加藤(久)

内線 3360, 3361

ダイヤルイン 052-954-6340

「燃料電池の周辺部品に関する技術研究会」の参加者を募集します

- 家庭用燃料電池開発企業との情報交換の場としてご活用ください -

家庭用燃料電池コージェネレーションシステム¹は、エネルギー効率が高いことから、家庭における省エネルギー及び二酸化炭素排出削減への効果が期待されます。

家庭用燃料電池の本格普及のためには、特にセンサー、ポンプ等、電池周辺部品の大幅な低コスト化が必要であり、そのためには高い加工・製造技術を持った中堅・中小企業の参入が望まれます。

このため、愛知県産業技術研究所、愛知県新エネルギー産業協議会²、及び愛知工研協会³は、家庭用燃料電池開発企業の周辺部品に関するニーズと中堅・中小企業の保有する技術シーズのマッチングを目指した「燃料電池の周辺部品に関する技術研究会」を2回に分けて開催します。参加は無料です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

1 「燃料電池の周辺部品に関する技術研究会」の開催内容

(1) 第1回：家庭用燃料電池に関する技術ニーズについて

【日時】平成23年10月27日(木) 午後1時30分から午後4時まで

【場所】愛知県産業労働センター(ウインクあいち) 18階セミナー室
名古屋市中村区名駅4丁目4-38

【内容】家庭用燃料電池の現状と課題の紹介、並びに本格普及に向けた、周辺部品・補機類に関する技術ニーズについて、講師をお招きし、講演いただきます。

【プログラム】

- ・講演 「固体高分子形燃料電池の現状と課題」
大同大学工学部機械工学科

教授 堀 美知郎 氏

- ・講演 「家庭用燃料電池の開発状況と周辺部品に求める仕様」
アイシン精機株式会社 エネルギー技術部 コージェネグループ

主査 兼 グループマネージャー 工匠 厚至 氏

(2) 第2回：家庭用燃料電池に関する技術シーズについて

【日 時】平成24年1～2月頃(未定) 午後1時30分から(予定)

【場 所】愛知県産業労働センター(ウインクあいち) 18階セミナー室
名古屋市中村区名駅4丁目4-38

【内 容】燃料電池の周辺部品・補機の開発を進めている企業から、技術シーズを紹介していただくとともに、希望される方には、家庭用燃料電池の開発企業との個別ビジネスマッチングを行います。

2 参加申し込みについて

(1) 申込方法

燃料電池やその周辺機器の開発に係わる大学、企業、試験研究機関の方々をはじめ、どなたでも参加できます。参加申込書によりFAXにてお申込ください。

参加申込書は、産業技術研究所及び産業労働部地域産業課にて入手できます。

また、産業技術研究所のホームページ(<http://www.aichi-inst.jp/>)からもダウンロードできます。

(2) 申込期限

平成23年10月20日(木)

(3) 定 員

50名(先着順)

(4) 参加費

無料

3 問合せ及び申込み先

愛知県産業技術研究所 工業技術部自動車・機械技術室 鈴木、村上、梅田

〒448-0013 刈谷市恩田町1丁目157番地1

電話：0566-24-1841 FAX：0566-22-8033

URL：<http://www.aichi-inst.jp/>

【用語解説】

1 コージェネレーションシステム

発電時等の排熱を利用して、冷暖房や給湯などに利用する熱エネルギーを供給するシステムのこと。

2 愛知県新エネルギー産業協議会

産・学・行政を構成員に、地域の新エネルギー関連産業の振興策について協議するとともに、この振興に必要な技術分野、社会システム分野などの課題解決に向けた研究会を行っています。

3 愛知工研協会

愛知県に拠点を持つ企業(約200社)で構成され、工業技術の向上・改善・開発を通じて、生産の合理化を図り、産業界の発展に寄与することを目的に研究会、講演会等を行っています。